

筑波大学

【当財団の特色】

- 国内奨学金の給与に加え、海外留学を優遇する支援制度（留学奨学金および国内奨学金の1年延長）あり（末尾<参考情報>参照）
- 奨学生一人一人との定期的な対話
- 奨学生（国内学部生、ASEAN留学生）間の交流促進

1. 応募資格

下記の資格のすべてに該当し、大学推薦を受けた学部2年生（2022年4月現在）

- (1) 広く社会の発展のために貢献する強い意欲があること
- (2) 心身ともに健康で、学業成績、人物ともに優れていること
- (3) 学資が豊かでないこと（目安：生計維持者の年収計 税込1000万円以下）
- (4) 財団行事および奨学生間の交流に積極的に参加する意欲があること

2. 他の奨学金との併用（※）

(1) 貸与型奨学金：併用可

(2) 給付型奨学金

① 国の修学支援制度による授業料免除と給付型奨学金：併用可

② 民間団体による奨学金：併用不可

③ 大学独自の成績優秀者表彰制度：併用可、奨学金制度：応相談

④ 地方公共団体による奨学金：応相談

（※）併用とは、当財団の奨学金に加え、期間を一部でも重複して他の奨学金を受給すること

3. 指定学部および採用予定数

(1) 指定学部：社会・国際学群、理工学群、情報学群、生命環境学群
人間学群（教育学類を除く）、人文・文化学群

(2) 採用予定数：第2学年 合計2名（前年採用実績2名）

4. 奨学金の内容および支給期間（給付型につき返済不要）

(1) 支給月額：50,000円（年額60万円）

(2) 支給期間：2022年4月～2025年3月（最短修業年限の終期まで）

(3) 給付方法：4月、7月、10月、1月に3ヶ月分を銀行振り込みする。
ただし、初回は4～6月の3ヶ月分を6月上旬に給付予定

5. 応募方法

応募者は、次の申請書類を各大学奨学金担当課経由で財団宛に提出すること

- (1) 学資給与願／自己紹介書／家計状況申告書（課税証明書類等を添付）
- (2) 1年次成績証明書
- (3) 健康診断書

6. 応募締切

2022年5月9日（月）（財団必着）

7. 選考、結果の通知、授与式

第一次選考 書類選考

第二次選考 面接 5月18日（水）

第一次選考通過者のみ、面接詳細について本人宛に連絡する。

選考結果に関する問い合わせには、公平性の観点から答えられない。

結果の通知 5月24日（火）

メールおよび書面にて本人宛に通知する。

授与式 5月31日（火）12:00～16:00（含む懇親会）

東京にて開催

8. 奨学生の義務

(1)3か月毎、予め決められた月に財団事務所（またはオンライン）で面談を行うこと

(2)参加必須の財団行事（授与式、交流の集い）に出席すること

9. その他

本要項に記載がない事項については、本財団の学資給与規程に定めるところによる。

10. 財団のホームページ

<http://www.kagami-f.or.jp/>

以上

<参考情報> 海外留学支援制度

種類	A. 留学奨学金	B. 在籍大学の修業期間を延長する場合の 国内奨学金（帰国後）
対象者	当財団の国内奨学生で、正規の最短修業年限までに3か月以上の留学をする者。 対象となる留学（語学研修のみは除く） ・派遣留学 ・私費留学 ・実践活動（インターン／ボランティア／フィールドワーク／プロジェクト学習）	当財団の国内奨学生で、留学を理由として在籍大学の最短修業年限を延長する者。
支給金額	最大月額 100,000円 (詳細はJASSO留学奨学金／地域別月額に準じる) 休学を伴わない派遣留学等の場合には、国内奨学金(月額50,000円)の上乗せとして上記額を支給する 別途、渡航支援金100,000円を渡航前に支給	月額 50,000円
支給期間	最長12か月	最長12か月
重複受給可否	他の留学奨学金との重複受給可 (トビタテ!、JASSO留学奨学金等との重複可)	重複受給不可 (募集要項「2. 他奨学金との併用」に準じる)

※上記 A・B いずれの奨学金も経済的必要性および実効性について審査あり

2022年度 学資給与願

20 年 月 日

公益財団法人東京海上各務記念財団 御中

貴財団の2022年度国内奨学生募集要項に従い学資の給与を受けたく申し込みます。
学資給与願および添付書類等の記載内容は、事実と相違ありません。

大学	学部	学科 2 年	本人写真 3ヶ月以内に撮影 本人単身胸から上
ふりがな			
氏名			
20 年 月 日 生 (満 才)			
本人住所 〒 —		携帯電話番号	
E-mail			
①		(財団連絡用/除くhotmail)	
②		(予備)	
帰省先住所 〒 —		電話番号	

学校区分	学 歴
中学	卒業 年 月
高校	入学 年 月 卒業 年 月
大学	入学 年 月

【応募に際しての確認事項】 募集要項・記載要領を参照の上、に確認のを入れてください。

- ・ 広く社会の発展のために貢献する強い意欲、志があります。 : あります
- ・ 健康状態は良好で、修学上の問題はありません。 : ありません
- ・ 財団行事及び奨学生間の交流に積極的に参加する意欲があります。
(※詳細は、募集要領・記載要領を参照のこと) : あります
- ・ 他の団体(日本学生支援機構・学内の成績優良者表彰制度などは除く)の奨学金への応募はありません。 : ありません

自己紹介書

氏名

【目指す人物像】あなたは将来どのような人物になりたいか。そのために大学4年間でいかに過ごし、何に挑戦するのか。

【問題意識】国内外の社会問題のうち、最も意識し、関心があること。それについての自分の意見。

【専攻予定分野】関心のある学業分野とその理由。

【卒業後の進路】将来の職業ビジョン（現時点で考えていること）。

【海外留学予定・希望】有・無（希望する時期・期間・国地域・大学・専攻分野等を記入 インターンを含む）

【自己PR】

得意な学科

所属クラブ等

性格

趣味／特技

各種語学スコア・
表彰・資格等

家計状態申告書

氏名	
----	--

家族と所得の状況					
続柄	氏名	年齢	勤務先・職名または学校名・学年	給与所得金額 (税込)	給与以外の 所得金額 (税込)
				千円	千円
父					
母					

注) 生計維持者の課税(非課税) 証明書を添付のこと (写しで可)

本人の収入・支出(月額 円単位)			
		1年次 (実績)	2年次以降 (予定)
収入項目	家からの収入	円	円
	アルバイト (職種:)	円	円
	当財団の奨学金	円	50,000 円
	他の奨学金 (内訳を下欄に記入)	円	円
	(名称) (金額) 円/月 (給与/貸与) (期間) 20 / ~ 20 /		
	(名称) (金額) 円/月 (給与/貸与) (期間) 20 / ~ 20 /		
	その他収入 ()	円	円
収入合計		円	円
支出項目	食費 (本人支出分)	円	円
	住居費 (家賃・光熱水道料計)	円	円
	交通費	円	円
	書籍・学用品費	円	円
	授業料 (月平均支払額)	円	円
	その他支出 ()	円	円
支出合計		円	円

奨学金を希望する理由

家計状態申告書 (記入上の注意)

氏名

家族と所得の状況

続柄	氏名	年齢	勤務先・職名または学校名・学年	給与所得金額 (税込)	給与以外の 所得金額 (税込)
				千円	千円
父				税込総額を記入	
母					

父母死亡の場合は年齢欄に「亡」と記入し、
離婚の場合は「生別」と記入する

兄弟姉妹がいる場合、全て記入する
但し、その所得記入は不要

注) 生計維持者の課税(非課税) 証明書を添付のこと (写しで可)

本人の収入・支出(月額 円単位)

		1年次 (実績)	2年次以降 (予定)
収入項目	家からの収入	円	円
	アルバイト (職種:)	円	円
	当財団の奨学金		50,000 円
	他の奨学金 (内訳を)	JASSO給付/貸与型奨学金、大学独自の奨学金等	
	(名称) (例) JASSO給付型奨学金 (金額)	円/月 (給与/貸与)	(期間) 20 / ~20 /
	(名称) (金額)	円/月 (給与/貸与)	(期間) 20 / ~20 /
	その他収入 ()	円	円
収入合計		円	円
支出項目	食費 (本人支出分)	円	円
	住居費 (家賃・光熱水道料計)	円	円
	交通費	円	円
	書籍・学用品費	円	円
	授業料 (月平均支払額)	授業料免除がある場合、免除後の実支払額で記入	
	その他支出 ()	円	円
支出合計		円	円

合計金額が同額になるように記載

奨学金を希望する理由

本人が奨学金を必要とする理由を、出来る限り具体的に記入する

奨学金申請書類 記載要領

申請書類全般について

PC入力可であるが、様式・書式の変更は不可。

「学資給与願」

【応募に際しての確認事項】(4)

財団行事および奨学生間の交流とは以下を参照のこと

<参加必須の行事>

- ① 授与式(含む懇親会) : 2022年5月31日(火) 12:00~16:00 東京で開催
- ② OB・OGを含めた交流会 : 毎年11月 18:00~20:00 東京で開催

<参加任意の行事>

日本の文化にふれる会、奨学生向けセミナー、ASEANを知る会 等

<SNS・Facebookグループへの投稿>

奨学生間の情報交換・交流を目的としてFacebookグループを活用しており、
現役奨学生は毎年1回以上、投稿必須

「自己紹介書」

いずれの項目についても、意欲や思いが伝わるように、出来る限り具体的に詳しく記入する。

「家計状態申告書」

(記入上の注意)を参照のこと

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次										
		_____課程			_____大学院			_____研究群			_____年次	
	学籍番号								性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)
	フリガナ									家族住所	〒 _____ TEL (_____)	
氏 名												
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称		給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額		
		父				年			万円	万円		
		母					年			万円	万円	
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)										
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)										
別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別		通学別	控 除 額		
		本人			筑波大学	国立			※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無									
	障害者がある世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()							
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定					
	アルバイト		月額 (千円) 内容 (_____)								総収入金額	①
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 (_____)				必要経費	②	万円			
		申請中	月額 (千円) 団体名 (_____)				特別控除額	③	万円			
	その他の収入		月額 (千円) 内容 (_____)				総所得金額	④=①-②-③	万円			
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人	
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円	
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100		

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。